

氏名：尾上 保子
隊次：平成 21 年 1 次隊
職種：環境教育

現地エピソード 1

サモアの家は、壁がありません。壁がある家がある人も、涼しいからといってあえて壁のない家で寝たりします。どろぼうとか大丈夫かなー、と思うかもしれませんが、かえってこういう家がある所のほうが安全なんですよ。



現地エピソード2

ある日曜日、近所のおばちゃんからお昼ご飯をもらいました。肉、肉、肉！サモア人は、あんまり野菜（生）を食べません。日本料理を作ってあげると、おいしい、おいしい^^と食べてくれますが、ある日「もっと重いものが食べたい」と言われてしまいました。



活動について

昔は生ごみのような自然に帰るごみしか生活から出てこなかったのに、例えば、食べ終わったバナナの皮をポーンと投げ捨てるようなごみの出し方をしていたサモア。今でもその癖は抜けきれずに、飴のカスをポイ、スナックの袋をポイ、使い捨てのお弁当箱をポイ、、、

もちろんきちんとごみはゴミ箱に入れるサモア人もいますが、まだポイ捨てをしている人たちに「ごみはゴミ箱に！サモアをきれいにしよう！」と伝えるために、年に一度のサモアのお祭り「テウイラ祭」で高校生たちと、ごみひろいキャンペーンをしました。

楽しくおしゃべりしながらごみを拾う生徒たち。しかし！！そんな姿を知った上でポイ捨てる人も。それを見た生徒は、「本当に信じられない。ああいう人に環境の大切さを知らせるためにもごみを拾わなきゃいけない！」とっていました。

本当に暑い中、けなげにごみ拾いをしてくれた生徒たち。終わった後は、みんな清々しい笑顔でした。

